



高齢者・障害者のための

お役立ち手作り 自助具

自助具とは、運動機能などに障害のある人のために、自力で日常生活動作を行えるように工夫して作られた器具・道具をいいます。

提供 / 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 福祉用具プラザ北九州
〒802-8560 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目7-1 総合保険福祉センター1階
TEL. (093) 522-8721 FAX. (093) 522-8771

バネばしを作ろう

箸が使いづらい、食べ物をよくこぼすようになった、病気により指先が動きにくくなり、箸が持ちにくいといったとき、バネを使ったお箸を使うとお箸でご飯が食べやすくなります。今回はA(簡易型)とB(固定型)の2つの作り方を紹介します。

A (簡易型)



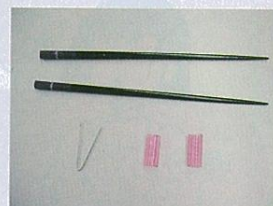
B (固定型)



A (簡易型)

材 料

- 車のワイパーの金属棒
(またはステンレス板 (厚さ0.5mm))
- 塩ビの燃料チューブ
(内径8mm程度の太さ)
- 箸



作り方

- 1 車のワイパーの金属棒を長さ9cmに切ります。切った断面は、やすりで怪我をしないように磨きます。
- 2 ペンチなどで中心から曲げます。
- 3 塩ビ管を2~3cmの長さに2本切ります。
- 4 塩ビ管を箸の先から通します。次に塩ビ管に金属棒を通し、使いやすい角度に曲げます。

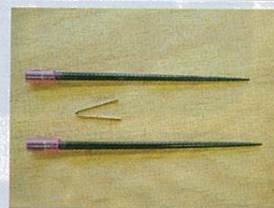


*車のワイパーの金属棒が手に入らない場合は、ステンレス板を7~8mm幅に切り、真ん中から曲げて使います。(周囲は怪我をしないようにやすりで磨きます)

B (固定型)

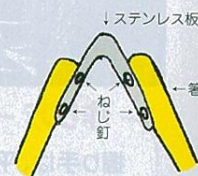
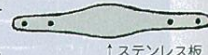
材 料

- ステンレス板 (厚さ0.5mm)
- お箸の太さより短いねじ釘
- 箸



使い方

- 1 ステンレス板を幅1cm、長さ10cm程度に切ります。平らに伸ばして周囲をやすりで丸くし、先を細くします。
- 2 両端に2箇所ずつねじ釘の通る穴を開けます。
- 3 お箸の同じ位置にきりで穴を開け、ステンレス板をねじで固定します。
- 4 ステンレス板を真ん中から箸先がそろうように曲げます。



※ステンレス板に穴を開けるとき、旋盤がない場合は釘と金槌で開けることもできます。

※ステンレス板は中央を幅広く、両端を細くするとより使いやすくなります。